

# お知らせ



国土を整え、全力で備える

国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

## 点検結果速報

記者発表資料配付日時:平成27年 10月 9日

同時発提供:島根県政記者会・出雲市政記者クラブ

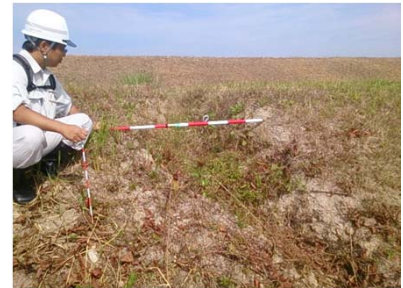
### 堤防点検で応急措置の必要な4箇所を確認し、速やかに対応を行いました

#### ～斐伊川堤防点検結果 変状が175箇所～

斐伊川では、常日頃から河川巡視を行い、安全な利用や適切な管理を行えるよう努めることで、洪水等の災害に備えています。この度、今後の台風に備え「斐伊川堤防点検」を行い、堤防が本来の機能を十分に発揮できるか重点的に確認しました。

今回の点検では、国土交通省職員延べ23名、緊急時対応員(※1)延べ20名の計43名で、河川の堤防・護岸・排水門の点検を行い、結果、175箇所の変状を発見し、そのうち、応急的な措置が必要なものは4箇所でした。点検で発見された応急的な措置が必要なものについては、既に措置を行いました。なお、平成26年度に行った同時期の点検においては180箇所の変状を確認しており、うち応急措置が必要な箇所はありませんでした。

今後も堤防や護岸の機能の維持に努めてまいります。万が一の災害時に備え、皆様のご自宅などを洪水から守っている堤防の区間が確認できる「浸水ナビ」(※2)をご自宅などからの避難経路の確認など、防災活動にご活用ください。



点検風景写真

<点検結果>実施日:平成27年 9月28日(月)～9月30日(水) 及び 10月 9日(金)

#### ○点検対象範囲

斐伊川(直轄管理区間)約70km(両岸合計)

#### ○さくらおろち湖(尾原ダム)周辺

#### ○点検結果

変状箇所 175箇所(斐伊川 167箇所 尾原ダム 8箇所)

- ・ 応急的な措置が必要と評価した箇所(別紙1～4)・・・4箇所(斐伊川 3箇所 尾原ダム 1箇所)
- ・ 計画的な措置が必要と評価した箇所・・・51箇所(斐伊川 51箇所 尾原ダム 0箇所)
- ・ 上記以外の変状箇所は、経過観察いたします。

#### ○措置状況

応急的な措置が必要と評価した箇所は、全て措置を行いました。

#### ○今後の予定

計画的措置が必要と評価した箇所は、計画的に対応し、効率的な施設管理を進めていきます。  
また、今回の点検を受け、経過観察する箇所や変状が確認されなかった箇所についても、日々、河川巡視等で監視することで、流域の皆様の安全・安心の確保に努めてまいります。

#### ○その他

平成27年10月 7日(水)に実施した神戸川下流の堤防点検(上流については平成27年 9月 8日(火)に実施し記者発表済(別紙参考))においては30箇所の変状を発見し、応急的な措置が必要と評価した箇所はありませんでした。また、計画的な措置が必要と評価した箇所は2箇所です。  
上記以外の変状箇所は、経過観察いたします。

※1「緊急時対応員」とは、巡視・点検を委託している民間企業の技術者

※2「浸水ナビ」とは、自宅などの地点をWEBサイト上で指定することにより、「どここの区間が氾濫した場合に浸水するか」「河川の決壊後、どれくらいの時間で氾濫水が到達するか」「どれくらいの時間、浸水した状態が継続するか」などの浸水リスクを簡単に把握できるものです。(http://suiboumap.gsi.go.jp/)

出雲河川事務所Webサイト <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

#### 問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所 TEL:0853-21-1850(代表)

副所長	にし 博之	ひろゆき 博之	(堤防点検全般に関すること)(窓口)
管理第一課長	なだわき 灘脇	あつろう 篤郎	(斐伊川に関すること)
尾原ダム管理支所長	さとう 佐藤	ひろし 寛	(尾原ダムに関すること)

## 別紙1

### ● 応急的な措置が必要と評価した箇所

#### (1) 堤防に複数の穴

場所： 斐伊川 右岸 出雲市斐川町鳥井地先

状況： 堤防法面に穴が 6箇所発見された。  
それぞれの大きさは概ね直径30cm程度、深さは深いもので2m程度。  
動物によるものと考えられる。

対応： 10月1日(木)に、穴を土のうで塞ぐことで応急対応済み。  
出水期明け(10月20日以降)に本復旧として掘削及び再盛土を行う。



## 別紙2

### ● 応急的な措置が必要と評価した箇所

#### (2) 護岸の洗掘

場所：斐伊川 左岸 雲南市木次町熊谷地先

状況：護岸張コンクリートの下の土砂が河川水によって洗掘されている。  
深いところでは1m近く掘れている箇所もある。

対応：現在、バリケードで立入禁止にすることで、人的被害の発生を防いでいる。  
出水期明け(10月20日以降)に土砂、コンクリートを充填するなどして、再度洗掘しないよう、前面を袋詰め玉石などで保護する。



状況写真(全景)



状況写真(近景)



## 別紙3

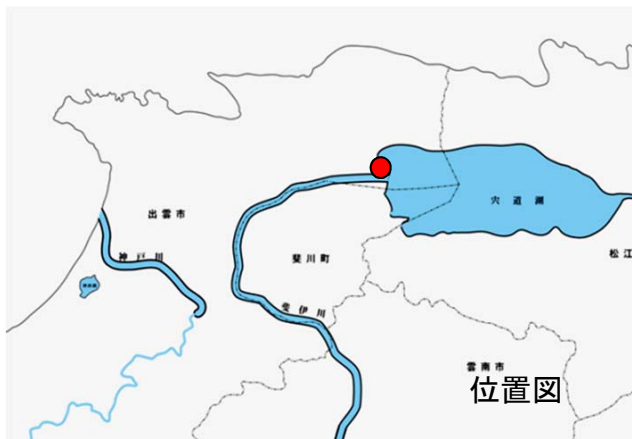
### ● 応急的な措置が必要と評価した箇所

#### (3) 堤防に複数の穴

場所： 宍道湖西岸 左岸 出雲市出島町地先

状況： 堤防天端と巨石護岸の間の法面に直径10cm, 深さ30cm程度の穴が3箇所確認された。  
雨の浸透によるものと考えられる。

対応： 10月8日(木)に穴を土のうで詰めることで応急対応済み。  
その後、経過を観察する。



別紙4

### ●応急的な措置が必要と評価した箇所

#### (4) 堤防 侵食

場所：尾原ダム貯水池 右岸 仁多郡奥出雲町矢谷地先

状況：降雨により、掘込河道の法面が侵食している。  
深いところでは0.6m近く掘れている。

対応：10月9日(金)に土のうによる応急対応を実施。(作業は10日(土)まで。)出水期明け(11月1日以降)に本復旧として掘削及び再盛土を行う。



## お知らせ

国土を **整え**、全力で **備える**国土交通省  
中国地方整備局Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

記者発表資料配布日時：平成 27 年 9 月 8 日

同時発提供：島根県政記者会・出雲市政記者クラブ

## 点検結果速報

## 約 90 件の異常を確認しましたが応急的な措置が必要な箇所はゼロでした

## ～ 堤防点検の結果【神戸川】～

出雲河川事務所では、常日頃から河川巡視を行い「100 年安心・安全な河川」を目指しているところですが、このたび、今後の台風に備えた「神戸川堤防点検」を実施しました。

台風 18 号の接近を目前に実施した今回の点検では、国土交通省職員 8 名、緊急時対応員<sup>(※)</sup>2 名の計 10 名で、河川の堤防・護岸・排水門及びダム湖周辺やその他の管理施設が本来の機能を発揮する状態にあるかを確認しました。

点検の結果、約 90 件の異常を確認しましたが、応急的な措置が必要と評価した箇所はありませんでした。



写真 高水護岸の不陸状況

<点検結果> 平成 27 年 9 月 8 日(火) 9:00～16:00 実施

- 点検対象範囲 神戸川(境橋より上流の国管理区間の左右岸)約 14km、志津見ダム湖周辺
- 点検結果 異常箇所 **約 90 件**
  - ・ 応急的な措置が必要と評価した箇所・・・**なし**
  - ・ 計画的な措置が必要と評価した箇所・・・**7 件(高水護岸の不陸等)**
  - ・ 上記以外の異常箇所は、経過観察いたします。
- 今後の予定 計画的措置が必要と評価した箇所については、計画的に対応し、効率的な施設管理を進めていきます。また、今回の点検を受け、経過観察する箇所や異常が確認されなかった箇所についても、河川巡視等で監視することで、流域の皆様の安全・安心の確保に努めてまいります。

※「緊急時対応員」とは、巡視・点検を委託している民間企業の技術者

出雲河川事務所 Web サイト <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

## 問い合わせ先

国土交通省	中国地方整備局	出雲河川事務所	TEL : 0853-20-1758
副所長	にし 博之	ひろゆき	(点検全般に関すること)
建設専門官	はまだ 健一	けんいち	(神戸川に関すること)
管理支所長	かわい 克文	かつふみ	(志津見ダムに関すること)